



YMCA

2004年度大阪YMCA年間聖句
 「強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい。」(コリントの信徒への手紙 16章13-14節)

大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びと力を合わせ、環境、人類、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

月刊 TheYMCA 付録
 編集・発行 / 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7番地
 大阪青年 発行：錦織一郎 編集：大阪YMCA広報室
 〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
 TEL06-6441-0894 FAX06-6445-0297
 URL: http://www.osakaymca.or.jp/
 (年10回発行) 1947年10月27日 第3種郵便物認可

大阪青年 2004 Dec. 12 No. 568

— クリスマスメッセージ — 「死の陰に光が臨んだ」

ルカによる福音書 第1章78節～79節

クリスマスになると町中に光が溢れます。体が芯まで凍える寒い冬の夜に、たくさんの方の光を見ると何だかホッとした気分になります。

今から20年前、ある説教者がクリスマスについて、こう語りました。「現代人の特色は、明るい目標を持っていない、というところにあると思います。何も心待ちに待つものがない、何も期待しない、『何も結局は変わったことは起こらない』と実に早々と見切りをつける」これは現在でも変わらない私たちの姿です。

クリスマスはこういう絶望の中に起こった出来事でした。私たち一人ひとりには、何の期待もできない、いや、暗い苦しみしか期待できない。そういう深い深い闇の中に、神のひとり子、主イエス・キリストがお生まれになりました。

聖書は、最初のクリスマス物語に、一人の証人を登場させています。ルカによる福音書第1章の祭司ザカリヤです。神の救いが実現する日を、「待ち続けた」老人です。

祭司ザカリヤは言いました。「この夜起こったのは、まっ暗な闇に光が差し込み、照り輝いたということだ。その光が、世界全体を、この私の全生涯を全く違ったものにし、すべてを新しくしてしまったのだ」

旧約聖書のイザヤには、ザカリヤの喜びがもつと豊かに響いています。「暗やみの中に歩んでいた民は大いなる光を見た。暗黒の地に住んでい



「主イエス・キリストがお生まれになった！」(しろがね幼稚園作成)

た人々の上に光が照った」(イザヤ書第9章2節)

光が照り輝いて、死と絶望からの解放が実現したのです。確かに、私たちが住むこの暗闇のまっただ中に光が照り輝いた。

クリスマスに、神のひとり子が人間の世界にまで突入し、「日の光」が我らを照らしました。私たちが、ただ暗闇の中で絶望していくことがないように、主イエス・キリストは、お生まれ下さったのです。

日本キリスト教団大阪教会牧師

岡村 恒

地の塩

▼「いと高きところには
 栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ」
 ▼イエスさまがお生まれになったクリスマス・イブ、ベツレヘムの夜空に

おびただしい天使たちが歌うグロリーヤの歌声が響き渡りました。イエスさまを拝した羊飼いたちも声を合わせ、「いと高きところには栄光」と歌いながら野原へと帰って行きました(ルカ2:14、20)。以来、初代教会から今日まで「グロリーヤ」は礼拝やミサの中で歌い継がれてきましたし、宗教曲や一般のコンサートでも最も多く歌われています。クリスマスを迎えて私たちも声高らかに「グロリーヤ」(賛美歌106番)を歌いましょう▼イエスさまの誕生は、先ず夜通し羊の番をしていた羊飼いたちに告げられました。そのとき主の栄光が周囲を照らし、明るく照り輝きました(ルカ2:9)。

神の御子は光と賛美の中で私たちの世界に誕生されたのです。御子の誕生を祝うのは光と音楽が最も相応しく、その意味でクリスマスは「光と音楽の祭典」でもあるのです▼最近軒下や窓辺にイルミネーションを飾る家々が増えてきました。また、校内の樹木に電飾して点灯式を行う学校もあります。光は私たちに希望と力を与え、音楽は慰めと平安をもたらしてくれます。クリスマスを迎えて、私たちは真の光と音楽の源泉はイエスさまの誕生にあり、イエスさまの言葉と行いにあることを憶えましょう。(虔)